

出張報告書

作成者 秋吉 恒一郎 作成日：2019年7月28日

日時：2019年7月14日～15日

場所：電気通信大学 80周年会館(リサージュ)3F、新C棟、大学会館 他

出張者：秋吉 恒一郎 (同行者 小島宣治 支部長、大木滋 副支部長、中田祐美恵さん)

1 目的：目黒会 国内支部委員会、国内外海外合同支部委員会、大学ホームカミングデー(以降 HCD)及び各種行事に参加し、支部活動活性化に関して支部の取組、意見、要望の発表し討議を行う。他支部との交流を図る。HCD の盛り上げを行う。

2 日程 (日時及び場所)

- ① 14日 13:00～14:30 国内支部委員会 リサージュ 3F
- ② 14日 14:30～16:00 国内・海外支部合同委員会 リサージュ 3F
- ③ 14日 16:00～18:30 本部・支部等合同懇親会 学生会館ハルモニア
- ④ 15日 10:00～11:50 首都圏支部総会 新C棟 403
- ⑤ 15日 12:00～13:00 ランチ懇親会 目黒会グループ会の活動紹介 新C棟 303
- ⑥ 15日 13:30～15:50 HCD 大学全体会 C棟 203
- ⑦ 15日 17:00～18:30 HCD 目黒会・大学合同懇親会 生協食堂

3 内容

①国内支部委員会

事務局紹介 西山副事務局長、行徳さん、芝さん、鈴木さん 進行は傘支部委員会委員長、下期支部委員会（3月）の課題2について事務局見解発表と討議。

(前回)個人情報保護の観点から会員の名簿(メールアド等)が出せない。紙ベースならOK→(今回 森事務局長より)支部長要請があればメールアドレスはデータでも出せる。卒業生がどの企業に就職したかのデータは大学から取ることもできない。

(森事務局長)本部はハガキ送付を要請に応じてやっているが返信率が低い。(意見 秋吉)出欠や近況報告ができるフォームを本部で準備していただき、そのURLをQRコードにしてハガキに印刷すれば返答率は高まると思う。目黒会報の写真は白黒が多いがカラーで閲覧要望(九州 麻生氏)があったが、同様にQRコードを会報に印刷しWeb誘導し閲覧できればよい。(森事務局長) プッシュとプル両方必要と認識。QRコードは必要だと思うので前向きに検討していきたい。

支部活性化討論

(意見 秋吉)大学の同窓会行事が楽しかったという印象を持ってもらう報告活動が必要。楽しい写真の掲載をしたい。大学への帰属意識を高めることが必要。自然発的にできているクラス会の動きと結びつけることが大事では。

(今井)グループ会の活用がある。(森事務局長、傘委員長)SNSについてはICT公報で検討する。

その他の意見 Facebook 等 SNS の活用をもっとやってはどうか。プッシュの仕組みとして使える。
目黒会サイトにマイページを作つて、個人情報の管理ができるようにしてほしい。社会貢献活動等のコラボも重要。(他にもたくさん意見、要望がありましたが本部より議事録が出ているので割愛します。)

②国内・海外支部合同委員会

海外支部の代表より海外支部での取り組みの報告。(韓国、北京、上海、ベトナム、タイ、インドネシア、米国)

支部委員会 国内・海外 全体写真



③本部・支部等合同懇親会

アトラクション：ジャズバンドの「MASH 弦楽団」の演奏、各支部持ち寄り 銘酒の利き酒会

④首都圏総支部総会

講演会 電通大 細川敬祐 教授 「電波と光を用いた地球の近くの宇宙の天気」 電離圏の話、太陽風により乱れがおき GPS 測位が乱れる、そのための対策や予報が必要などのポイントが興味深かった。

⑤ランチ懇親会

目黒会グループ会の活動紹介があった。技術士会、UEC WOMAN 女子会、小田急沿線気楽な会、ヴェルテン会、おもちゃの病院、フェリシア会 の 6つ。

⑥大学全体会

福田学長挨拶 大学評価と研究費の規模についての話、西東京三大学・電通大 農工大 東外大連携が印象的だった。

中野理事報告 100 周年記念事業実施報告、野々村会長挨拶。

学術講演会

千葉大学 羽石教授 「さまざまなモダリティを用いた生体のダイナミックイメージング」
二次元動画と三次元 MRI 静止画から 3 次元動画を合成する研究成果が大変印象的だった。

電通大 南教授 「人工知能が言語を理解するためには」 東大受験するロボットの研究から始まり、言語発達についての相関関係についてのお話など興味深かった。

⑦HCD 目黒会・大学合同懇親会

UEC 基金高額寄付者への感謝状贈呈 5 人への感謝状が贈呈された。
基金奨学生挨拶 基金より奨学金を受けている 3 人の学生より感謝の言葉があった。

4 所感

支部委員会では支部活動をどのように活性化していくかについて議論ができたと思う。短い時間ではあったが各支部から良い意見や要望が出たと思う。SNS の活用（プッシュ）や紙媒体とネット・本部 HP とのリンク（QR コード）など着手できるものはやっていってほしい。個人情報保護の観点からハードルが高いものもあるが、すぐに取り掛かれるものもあり本部・支部で取り組んでいければと思う。

HCD は初参加であったがとても楽しいものだと実感した。同学年のクラス会やサークルの集まりなどをこの時期に設定してより活気ある HCD にしていければと思う。

HCD は 1 日の間に別の場所で異なるプログラム・イベントが進行したこと、また目黒会・支部委員会、首都圏総会などと並行して進んだことから行きたいところに全部参加できなかった。時間と場所に制約があるため難しい面もあるがもう少し余裕があればいいかもしれないと思った。個人的にはオーブキャンパスやキャンパスツアーやに参加したかった。寮生仲間や同クラスの仲間が来ていたがプログラム参加のため会えなかった。次回は期待したい。

懇親会は目黒会のもの、大学合同のものがあり両方参加できて良かった。目黒会のほうでは海外支部を含め他支部の方々と交流できとても有意義な時間であった。ここにきておられる方はボランティア精神の高い方々なので当たり前かもしれないが多方面、他地域で活躍される方が多く、たくさんの刺激を受けることができ人脈も広がったと思う。

プログラム終了後、両日とも有志による二次会が調布であったが、両日とも参加でき学生ボランティアの方々との交流や首都圏支部の方々との語らいもでき楽しむことができた。

出張に行かせていただきとても感謝しております。

ありがとうございました。

以上